

# 文化祭 新たな試みが随所に

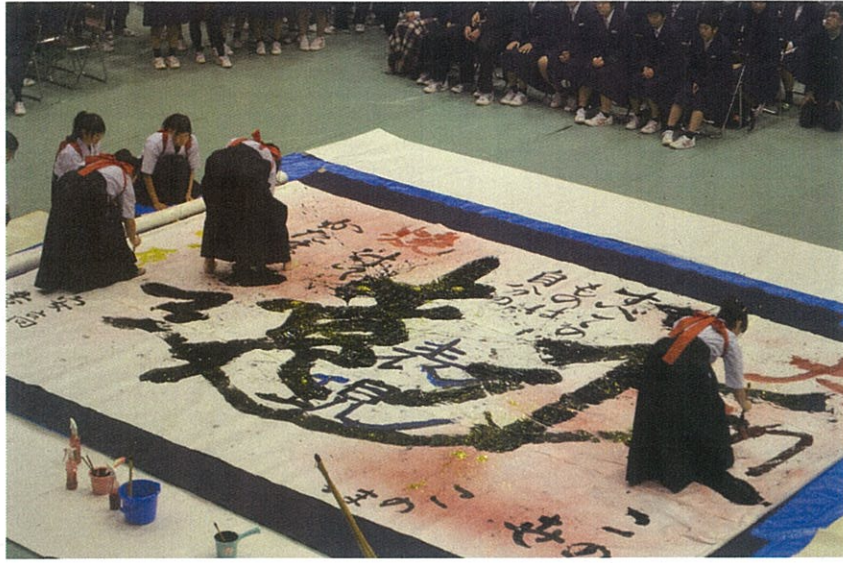


## 安来高新聞

発行所  
安来高校新聞部  
〒692-0031  
島根県安来市  
佐久保町115  
TEL (0854) 22-2840  
FAX (0854) 22-3612

### 飛行機に想いをのせて

11月3日に文化祭が行われた。今年の文化祭は今までとは違う「新しさ」を求め、色々な企画が催された。生徒会企画の一つとして、各文化部の展示を巡るツアーが催行され、参加者からは「おもしろかった!」という声が続出した。また、各部では見学者が実際に体験できるコーナーを作ったり、作品を見ている人の写真を撮ってプレゼントしたりと、展示を行っている文化部も今年は一味違った。



書道パフォーマンスを披露する書道部

### 書道部 会場を魅了

午前の部終盤には書道部による庄巻の書道パフォーマンスが行われた。これは初の試みで、書道部以外の生徒もダンスをするなどしてパフォーマンスに参加し、会場を盛り上げた。

紙が破れてしまうというハプニングもあったが、大きな筆で描かれていく「永遠 この世のまま」という美しい文字に会場中が魅了された。

行われる、安来市出身の陶芸家 河井寛次郎さんの没後50周年イベントでもこの書道パフォーマンスを披露する。この記念すべきイベントに向け、練習を重ねてきており、今回はその壮行もかねて行われた。部長の作野友香さん(2年)は「人数が少なく出入りや幕の調節が大変だった。11月13日の本番では今回の反省を生かしよりよいパフォーマンスができるよう頑張りたい」と熱く語った。

書道パフォーマンスを見て、田中愛美さん(2年)は「みんな袴を着た、普段とは違っていた。一面を見ることができた。字もきれいで、様々な工夫があつて感動した」と笑顔で語った。(柚)

### 会場が笑顔に 優雅な調べ 弦楽部 華やかな演奏 吹奏楽部

恒例の弦楽部、吹奏楽部の演奏が行われた。吹奏楽部はダンスを交えた演奏やプロジェクターを使用するなど今までは違う新しい発表で、全校生徒がより楽しめるものとなった。生徒とのコラボがあったPPAPが一番盛り上がり、会場が笑顔に包まれた。PPAPでピコ太郎をやった福島廉志郎さん(2年)は「いつも一人でPPAPをやっていたが、今日は吹部の演奏と一緒に出来てとても楽しかった。みんなも楽しんで

でくれたよう良かった」と笑顔で話した。また、吹奏楽部長の松崎花音さん(2年)は「今年は今まではまた違うスタイルでやって、自分たちだけで作り上げる事が出来た。色々な人が協力してくれて嬉しかった」と話した。(愛)



PPAPを踊る福島廉志郎さん(2年)

### 講演「年中夢求」

#### 日本語表現のフロが語る 夢実現へのフロセス

講演講師の庄司正樹さんは安来高校OBで、プロドキヤスター、俳優、声優、講師と多方面で活動している。講演会のタイトルは「年中夢求」で、庄

司さん自身の夢実現への過程、自分の将来の職業選択の幅を広げる方法などを語った。様々な経験をされてきた庄司さんに、今まで無駄だと思ったことはなかったかと聞くと「今までしてきたことは巡り巡って自分の仕事に関わってくるので考え、方次第だと思う。無駄だと思ったことはない」と語った。これから新たに挑戦したいことを聞くと「東京オリンピック・パラリンピックで仕事をしたい。実績を残したい。そして1日、1年でも長く現場で仕事をしたい」と語った。挫折した時に視野を広げるコツを聞くと「い



熱く語る庄司正樹さん

### 生徒会 初めての大事な

今年の生徒会企画は「ゲリラライブ」「校内ツアー」「君の名は」だった。「ゲリラライブ」では2組のパフォーマーが校内で演奏をして、道行く人の足を止めた。「君の名は」ではフリータイム時に自己表現の紙を紙で紙飛行機を作り、生徒会長のカウントダウンと共に一斉に全校生徒で飛ばし、楽



ギターをかき鳴らす安来くん

しかった一日に相応しい華やかな企画で文化祭の幕を閉じた。(葉)